

小口市長ら選出馬に意欲



永田 公由
(市民派連合)

◆次期市長選への考えは

問 市の課題解決には、小口市長の行政手腕とリーダーシップが不可欠であり、もう一期市政を担当してほしいが。

答 方向性を出す時期ではないが、一年後の市政経営を考えない首長はいない。再挑戦すると決めた際には一緒に汗を流してもらいたい。

◆庁内組織の再編は

問 30年度からの組織再編の目指す方向性と目的は。

答 多様な人材が生き生きと働くことのできる活力ある組織体制を目指している。

11月の議員全員協議会で再編案を説明し、意見をいただきたい。

◆調整区域の土地利用は

問 農振法の見直しに伴う農業者への意向調査で、農地の縮小を希望する農家が多かった場合はどうするのか。

答 農家の意向を反映させていくが、市の土地利用計画等を踏まえ、市として責任ある見直しを行っていききたい。



民間譲渡される予定のすがのの郷

問 農業公社の事業拡大についての考えは。

答 公社の管理面積が作業的に限界であり、今後も耕作放棄地の増加が懸念される。事業の拡大について、両JA等関係機関と検討していきたい。

◆その他の質問事項
地域のケア会議の目的と、すがのの郷の施設譲渡の日程について質問した。

第1期中期戦略と第2期中期戦略策定の方針および今後の区域区分制を問う



村田 茂之
(市政同志会2015)

◆第1期中期戦略の総括評価と推進上の課題

問 第1期中期戦略の総括評価と推進上の課題をどのように捉えているか。

答 総合計画最上位の人口目標は順調に推移していると捉えている。課題は一つの施策を複数の事業部で展開することもあり、施策体系や組織再編も行っていく。

問 「子育てしたくなる街、日本一」の成果は。

答 妊娠前から18歳まで切れ目のない施策を重点展開してきた。市民意識調査でも高い評価が得られており、着実に成果に繋がっている。

◆線引き制度に関して

問 立地適正化計画（コンパクト・シティ構想）と区域区分（線引き）制度の関連及び区域区分制度を有しない他の市町村との差異はなにか。

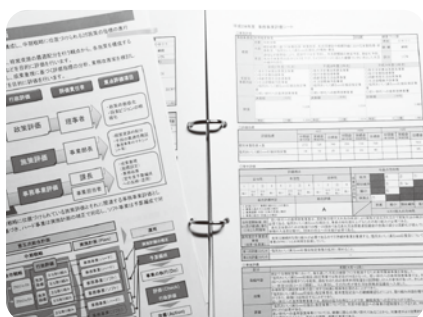
答 県内の大半の自治体では個別の都市計画区域を指定しており、線引き都市の市街区域制度と大きな差異はない。

◆要望
個人の地権者の意思の尊重や市の重要なリソースについて、市独自の制度を設けることを検討してほしい。

◆放課後の児童の行動制限
問 「学校の決まり」でえんぱーくや子ども食堂が利用できるか。

答 下校後は児童の監督責任は一義的に保護者となる。市校長会で投げかけ、各学校で対応を検討する。

◆その他の質問事項
高ポッチ富士山日本一撮影スポット、松くい虫対策と虫個体数削減について質問した。



塩尻市の行政評価シート